



ちとせたい

学校だより 第 5 号
令和 7 年 8 月 2 8 日
六ヶ所村立千歳平小学校
文責：教頭

『普通』って？

校長 尾崎 修一

37日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちが戻ってきました。今年の夏休みも暑かったですね。日本の気象庁では「過去30年の気候に対して著しい偏りを示した天候」を、世界気象機関では「平均気温や降水量が平年より著しく偏り、その偏差が25年以上に1回しか起こらない程度の大きさの現象」を、それぞれ「異常気象」と定義しているそうです。となると、ここ数年続いている異常な暑さや極端な降水量などが、この先も20年程続けば、『異常』ではなく『普通』になるのです。気象に関する『普通』をアップデートしなければいけない日がきそうですね。

さて、上述にも出てきた『普通』という言葉。よく耳にしますし、話し言葉・書き言葉としても使います。この『普通』の意味について、いろいろな辞書等で調べてみました。

- 広辞苑第七版（岩波書店）・・・①ひろく一般的であること。多くに当てはまること。
②どこにでも見受けられ、他と特に変わらないこと。
- 日本国語大辞典（小学館）・・・①ごくありふれていること。通常であること。
②広く一般に通じること、または通じさせること。また、ある範囲内の物事すべてに共通し、例外のないさま。
- デジタル大辞泉（小学館）・・・①特に変わっていないこと。ごくありふれたものであること。それがあたりまえであること。また、そのさま。
②たいてい。通常。一般。
- Wiktionary日本語版・・・①広く通用すること。例外や特別ではないこと。
②ありふれていること。優れた点や変わった点がないこと。
③優れても劣ってもおらず、標準に位置すること。

ちなみに、『普通』の対義語は『希少・奇抜・異常・特別・特殊・特異・奇異』、類義語は『一般・平常・通常・平凡・平庸・並』らしいです。何となく分かる気はしますよね。

誰もが分かっているはずの『普通』の意味は、上の [] 内のように何となく共通認識できていると思われまます。しかし、その程度や内容には、人によって大きな認識の差異があるのです。

令和6年3月13日の全校集会で、「目玉焼きに何かける？」という話をしました。醤油、塩、コショウ、塩コショウ、味塩、麵つゆ、砂糖、ケチャップ、ソース、何もかけないなど、当てはまるものに挙手してもらいました。すると、自分とは違う物をかける人がいることに驚く子どもたくさんいました。つまり、自分が今まで目玉焼きに『普通』にかけていた物が、他の人にとっては『普通』ではない？と感じたのでしょう。自分・我が家の「普通・当たり前・常識」は、他人・よその家庭の「普通・当たり前・常識」とは限らないこと、また、自分の中での常識が、社会・世間の常識とは違う可能性もあるということです。この全校集会の結論は「様々なことで自分とは違う人がいることを知り、それぞれの違いを認めて尊重することが大切！」でした。俗に言う「多様性・個性の尊重」「みんな違ってみんないい」というものです。また、これと似たようなことで、自分では何とも思わない言葉・事象が、人によってはとてもショック・一大事という場合もあり、「同じことでも、感じ方・受け取り方は人によって違う！」ということです。

世の中、いろいろな人がいます。「こんなことする人いるの？」と面食らったことも多々あります。皆さんも経験ありませんか？
将来、社会の一員として生活する子どもたち。教科学習はもちろん大事ですが、最低限、人に迷惑をかける言動や違法行為を行うことが『普通』の人にしない指導・支援も、学校及び家庭における大事な役目だと思っています。そんな想いで奮闘する千歳平小学校に対し、この2学期も、関係各位皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

算数の教科書に登場するキャラクターも、多種多様化されています。著作権の関係で掲載を控えますが、教科書の最初（目次の下部分）に紹介されているので、それを見ると「今はこうなんだ」と思われるでしょう。

■ 子どもたちの活動の紹介①

8月26日（火）、避難訓練を行いました。今回は、縦割り清掃の時間に理科室から火災発生という想定で行いました。日常、児童は、学年が混ざった状態で清掃をしており、その状況下でも避難ができるか訓練をしました。非常警報が鳴る中でも、校内放送を聞いて、上の学年が下の学年を誘導し、慌てず冷静に避難することができました。また、火災による訓練なので、煙を吸わないようにハンカチで口元をおさえることも理解し、適切に行っていました。

当日は、非常通報装置の作動の関係で、三晃ビルサービスさんにもご協力もいただきました。一階廊下の防火扉の一部を閉じることもしました。1年生は、未体験でしたので、防火扉が閉まっても、小さな扉から避難できることを教えました。

いつ起こるか分からない災害に備える心構えと避難の仕方を学ぶことができました。

【全校 避難訓練】



◎ 9月の行事予定

- 1日（月）マス計算コンテスト
- 2日（火）1・2年プール教室 クラブ 図書ボランティア来校
- 3日（水）村教育相談員授業参観 全校集会
- 4日（木）1・2年校外学習（県動物愛護センター）
5年心のバリアフリー教室
- 5日（金）3・4年プール教室
- 9日（火）6年修学旅行合同学習会・結団式 委員会
- 10日（水）6年修学旅行（北海道）～12日
- 12日（金）2年校外学習（千歳平地区探検）
- 15日（月）敬老の日
- 16日（火）3年食に関する指導 集金引落日 スクールカウンセラー来校
図書ボランティア来校
- 17日（水）児童集会（図書委員会発表）
- 18日（木）4年心の健康教室 3年校外学習（マエダ）
- 22日（月）5年校外学習（マルヨ水産、イオンスタイル沼館店）
- 23日（火）秋分の日
- 24日（水）読み聞かせ 3年校外学習（サンライズヒルファーム）
- 25日（木）4年校外学習（RAB、東奥日報社）
- 26日（金）4年人権教室 5年校外学習（村図書館）
スクールカウンセラー来校
- 29日（月）身長・体重測定 6年食に関する指導
- 30日（火）前期通知票配付日

※ 2学期初日、子どもたちの登校する姿を見ることができ、安心しました。大きな事故やけが等もなく、夏休み中の生活を支えてくださった、保護者の皆様に感謝いたします。2学期もよろしく願いいたします。